

MASTER GRADE GUNDAM ASTRAY BLUE FRAME D



GUNDAM ASTRAY BLUE FRAME D

GAI MURAKUMO'S CUSTOM MOBILE SUIT MBF-P03D



MASTER GRADE GUNDAM ASTRAY BLUE FRAME D



叢雲劾専用モビルスーツ
MBF-P03D
「ガンダムアストレイ ブルーフレームD」
1/100スケール マスターグレードモデル

GUNDAM ASTRAYD BLUE FRAME D
GAI MURAKUMO'S CUSTOM MOBILE SUIT MBF-P03D



叢雲劾専用モビルスーツ
MBF-P03D
「ガンダムアストレイ ブルーフレームD」
1/100スケール マスターグレードモデル

GUNDAM.INFO Search
www.gundam.info
バンダイホビーサイト www.bandai-hobby.net/
All rights reserved by your access method and connection to the website are
your own responsibility.
©2014 Bandai Namco Entertainment Inc. All rights reserved.



戦争とコーディネイター

Background of GUNDAM SEED DESTINY ASTRAY B

※劇中の設定です。

人工的に遺伝子調整され生み出された、優秀な能力を持つ人類「コーディネイター」。彼らは、宇宙にコロニー国家プラントを作り上げていた。対する地上の国家の多くは自然に生まれた人類「ナチュラル」が多数を占めていた。両者の間には拭いきれない溝があった。やがて政治的、経済的な対立が拡大。その結果、世界規模の戦争へと発展していく。戦争開始時、プラントの軍隊「ザフト」によって戦場に投入された人型の巨大兵器「モビルスーツ」は、物量で劣るコーディネイターたちに勝利をもたらした。対するナチュラルの「地球連合軍」でも同一の兵器を開発。戦場は一変し、それまでの航空機や戦車に代わり、巨大な人型兵器が主役となった。戦いが長く続く中で、軍に属さず

「戦う事」を生業とする者たちも生まれた。彼ら傭兵は、主義や主張に関係なく戦場に立つ。それまで力を持たぬ故に戦いの時代に翻弄され虐げられていた者たちにとって、傭兵の存在はなくてはならないものだった。その中でも傭兵集団「サーペントテール」は、最強と呼ばれた。リーダーの叢雲劾は、地球連合がコーディネイターに対抗するために作り上げた戦闘用コーディネイターの試験体であった。ある日、その劎の前に二人組の傭兵が襲撃してくる。ダンテ・ゴルディジャーニとエルザ・ヴァイス、二人は、劎を作り出した者と、劎と同じ戦闘用コーディネイターであった。最強と言われた劎に匹敵する強さを持つ劎。劎はどのように戦うのか。そして、この戦いの裏に隠された目的とは……。

ブルーフレームの変遷

Transition of BLUE FRAME

ブルーフレームは、オーブ連合首長国の自国防衛用の試作機であった。元々オプション装備の検証機として開発され、傭兵の叢雲劎の手に渡ったことで、ミッションに合わせた数々の特殊装備を追加され戦場に立つことになる。多数の敵と同時に戦うことを想定したフル・ウェポン。水中戦用のスケイル・システムなどである。やがて戦いの中で劎が蓄積したデータを元に大がかりな改修が行われた。コクピットにTP装甲を採用し、肩には

フィンスラスターを装着した、防御と機動力を高めた形態である。これはセカンドGと呼ばれるが、完成前に機体が破壊される事態となり、急速、ジャンク屋ロウがレッドフレーム用に作っていたパーツを組み込みセカンドLとして完成をみる。この後、ダンテとの戦いのために装備変更したのがブルーフレームDであった。後にジャングル戦に特化したソード。さらなる全面改修を加えたセカンドリバイ、そしてフォースへと進化することになる。



GUNDAM ASTRAY BLUE FRAME D

MBF-P03D



MBF-P03D ガンダムアストレイ ブルーフレームD

叢雲劎

オーブ連合首長国が、地球連合の持つビーム兵器などの最新技術を盗用して開発したモビルスーツ。「王道ではない」という意味を持つ「アストレイ」と名付けられた。その試作四機のうちの一機がブルーフレームである。本機の最大の特徴は、人に近い動きを再現可能としたフレーム構造にある。攻撃面ではビームライフルとビームサーベルを持ち、当時のザフトの機体を持たない最新兵器を有していた。一方で防御面では軽量の発泡金属装甲を採用し、機動力で防御面の不利を克服する設計であった。本機は叢雲劎の手に渡ってから、大きく改良が加えられ、新たな装備も追加された。傭兵の戦いの特徴は、自身にとって有利な戦場を作り出して戦うことにある。そのためミッションに合わせて、ブルーフレームには多種多様な装備が用意される。その中でも特に異彩を放つのがブルーフレームDである。これは対ダンテ戦だけを想定して作られた装備形態であり、劎がずっと隠してきた特殊能力のドラグーン操作に特化したものであった。全身に装備されたソードは、すべて遠隔操作兵器のドラグーンである。これらはそれぞれが特別な役割も与えられており、進化の止まったドラグーン系兵器の新たな可能性を示すものでもある。また、全てのドラグーンは両腕に装着し巨大な剣とすることも出来る。劎は、自身がドラグーンを扱えることを隠し続けるため、ブルーフレームDでの出撃を数えるほどしか行っていない。しかし、出撃すれば必ず勝利を掴むことが出来る。最強の機体であるのは間違いない。

傭兵とサーペントテール

Serpent Tail

コーディネイターとナチュラルの戦いは、全世界規模であり、また幾度かの停戦が行われたものの、一部の地域では継続状態が続いた。世界には兵器があふれ、それらは戦争とは違う目的でも使用された。多くの市民にとって、力を持たぬことは死を意味する。そこで傭兵への需要が大きく高まることになった。軍に所属せず、対価を支払うことで武力を行使する彼らは、企業施設の護衛から、一市民の救出作戦まで、主義主張に関係なく対応した。特に優秀な傭兵の中には、極秘裏に軍の任務を請け負う者たちもいた。そんな傭兵たちの中でも、地球連合とザフトの双方から依頼を受ける者は希な存在だ。「サーペントテール」は、どちらの軍からも信頼され、依頼を受けた。最強と言われ、その名を聞いただけで敵は戦意を喪失したほどであった。チームのリーダーは叢雲劎。ブルーフレームを駆りあらゆるミッションで勝利を手にする。元は戦闘用に開発されたコーディネイターの試験体であった。部隊でもう一人のモビルスーツ乗りがイライジャ・キール。彼はコーディネイターであったが、外見的美しさ以外に飛び抜けた能力を持たない。だが、長年の努力により、「英雄殺しのイライジャ」と呼ばれるまでの存在となっていた。リード・ウェラーは元地球連合に所属しており、情報収集のエキスパート。ロレッタ・アジャーはチームの紅一点で、作戦立案と爆破任務に長けていた。また、彼女の一人娘である風花・アジャーは正式メンバーではないものの、若い少女ながら部隊に同行し、大人顔負けの活躍を見せる。



ダンテ・ゴルディジャーニとエルザ・ヴァイス

DANTE GORDIGIANI & ELSA WEISS

ダンテ・ゴルディジャーニは、地球連合に協力して戦闘用コーディネイターの開発を行っていた。彼は遺伝子工学に精通しているだけでなく、敵無しの強さを誇る戦士でもあった。この開発計画で完成した試験体が叢雲劎であり、幼い劎に戦闘技能をたたき込んだのもダンテであった。一方のエルザ・ヴァイスも、ダンテによって作り出された戦闘用コーディネイターだった。劎の後に生み出され、その意味では遺伝子的な繋がりはないものの劎の妹と呼べる存在である。劎との違いは、モビルスーツに対応する遺伝子設計がなされている点だ。音信不通であったダンテがエルザと共に、突然劎の前に姿を現し戦いを挑んできた。モビルスーツでの戦いを望むダンテは、劎のブルーフレームに対峙するため、アクタイオン・インダストリー社を使い、アストレイノワールを開発させていた。この機体は、再生産したアストレイに、ノワールストライカーを装備しており、主兵装は、日本刀に銃を合体させたソードピストルを両手に装備していた。ダンテが駆る本機は、その日本刀でビームですら切り捨てることが出来た。劎は自身の戦闘技能を知り抜いたダンテと戦うため、隠し続けた能力を使用するブルーフレームDを用意する。アストレイノワールとブルーフレームD。黒と青、最強のアストレイ2機が、激突する。



ダンテ・ゴルディジャーニ

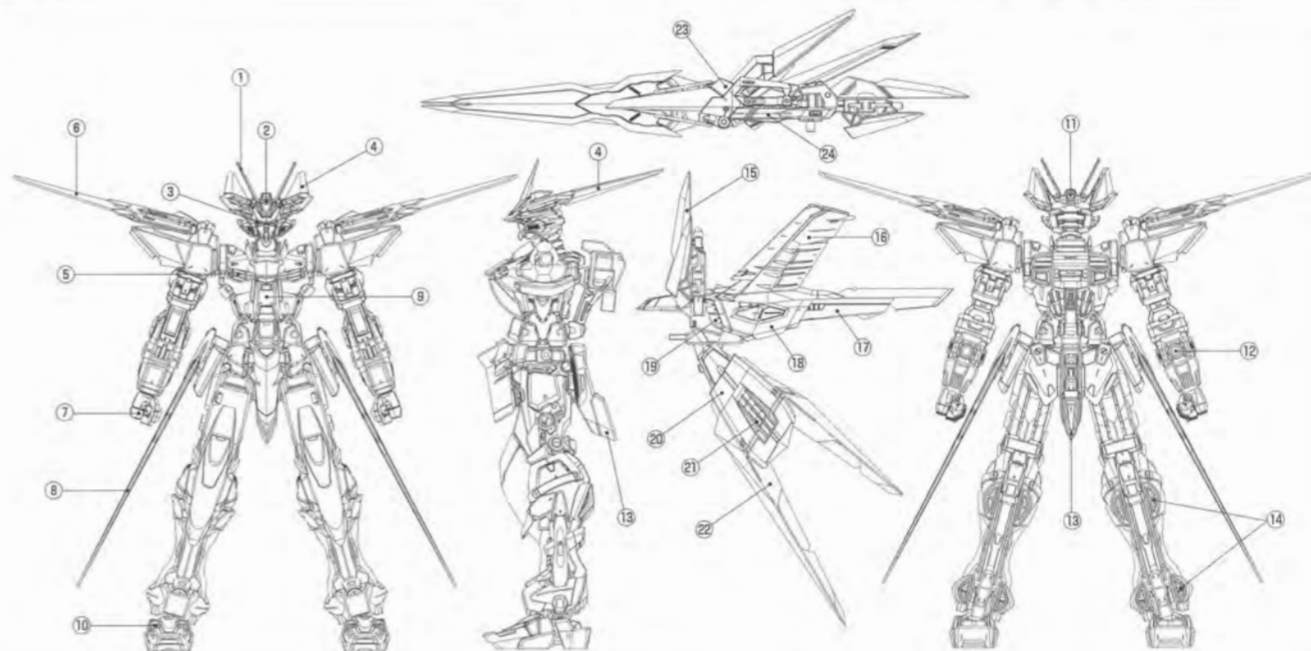


エルザ・ヴァイス



MBF-P03D ガンダムアストレイ ノワール

Parts and Spec MBF-P03D GUNDAM ASTRAY BLUE FRAME D



- ① ブレードアンテナ
- ② メインカメラ
- ③ デュアルセンサー
- ④ センサードラグーン
- ⑤ インテーク/ダクト
- ⑥ ステルスドラグーン
- ⑦ マニピュレーター
- ⑧ ソードドラグーン
- ⑨ TP装甲コクピット
- ⑩ フットスラスター
- ⑪ リアカメラ/センサー
- ⑫ ブレードガンマウント
- ⑬ メインパワーバックアダプタ
- ⑭ レッグスラスター
- ⑮ ビームキャノンドラグーン
- ⑯ ヴィーヴルストライカー・ウイング
- ⑰ バッテリーバック
- ⑱ ヴィーヴルストライカー・メインスラスター
- ⑲ ヴィーヴルストライカー・メインダクト
- ⑳ ヴィーヴルストライカー・メインブスター
- ㉑ ブースターインテーク/ダクト
- ㉒ ヴィーヴルストライカー・コントロールウイング
- ㉓ シンペルソード
- ㉔ ブレードガン/ドラグーン・プラットフォーム

注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

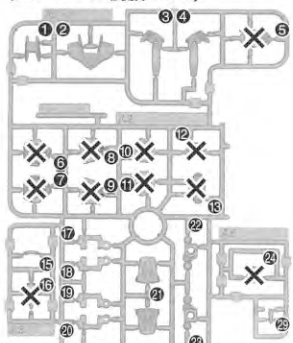
- 本商品の対象年齢は15歳以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品がありますので、小さなお子様が誤って飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 尖った部分や鋭い部分がありますので、取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

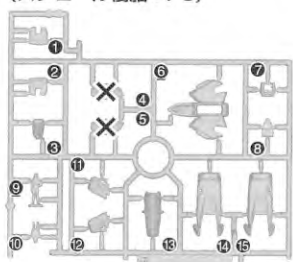
パーツリスト (X印は使用しないパーツです。)

Aパーツ(イロブラ) アンダーゲート有り
(スチロール樹脂: PS)

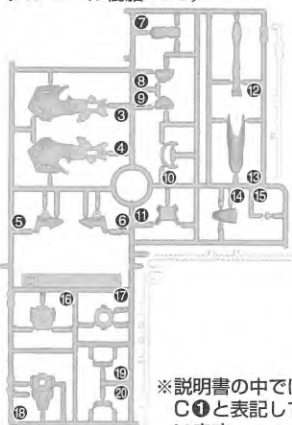


※説明書の中では A1 と表記しています。

Bパーツ(ホワイト)
(スチロール樹脂: PS)

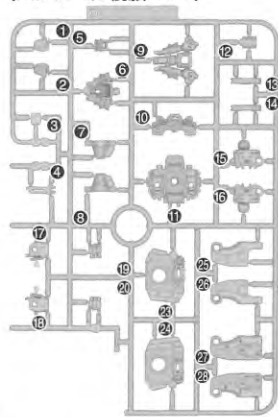


C1パーツ(ホワイト) (×2)
アンダーゲート有り
(スチロール樹脂: PS)

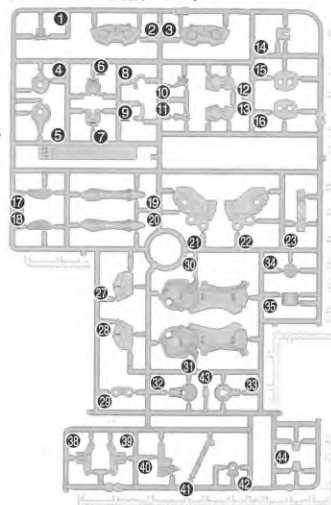


※説明書の中では C1 と表記しています。

Dパーツ(ブルー) アンダーゲート有り
(スチロール樹脂: PS)

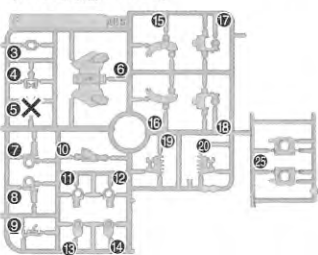


E1パーツ(ブルー) (×2) アンダーゲート有り
(スチロール樹脂: PS)

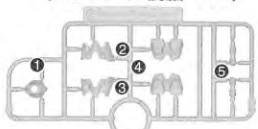


※説明書の中では E1 と表記しています。

Fパーツ(ブルー) アンダーゲート有り
(ABS樹脂: ABS)



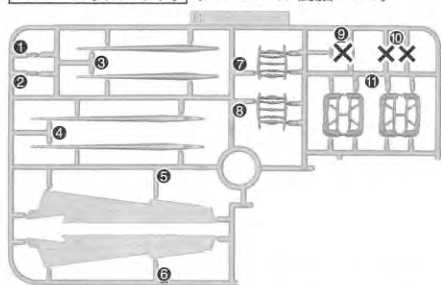
Gパーツ(グレー)
(スチロール樹脂: PS)



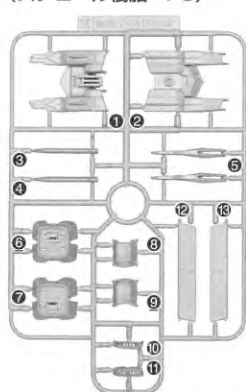
H2パーツ(ブルー)
(ポリプロピレン: PP)



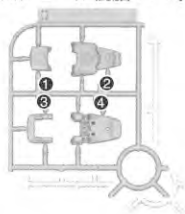
Hパーツ(ホワイト) (スチロール樹脂: PS)



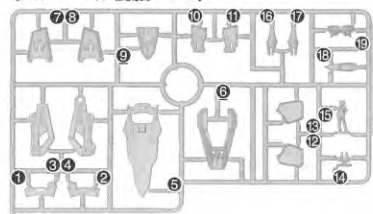
Kパーツ(ブラック)
(スチロール樹脂: PS)



Oパーツ(グレー) (×2)
(スチロール樹脂: PS)



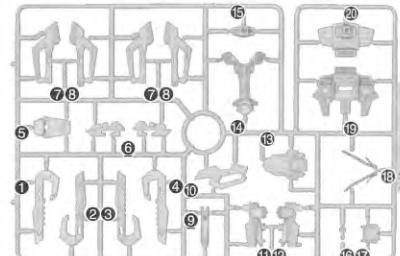
XA1パーツ(ホワイト)
(スチロール樹脂: PS)



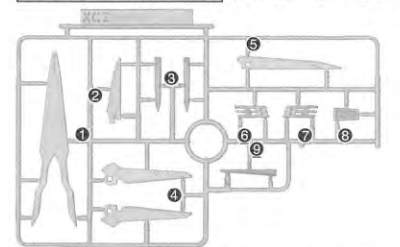
XA2パーツ(ホワイト)
(スチロール樹脂: PS)



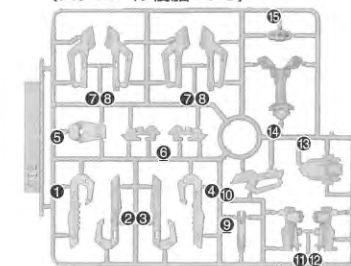
XB1パーツ(ブルー) (スチロール樹脂: PS)



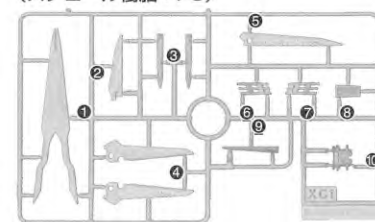
XC2パーツ(オレンジ) (スチロール樹脂: PS)



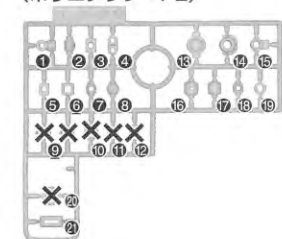
XB2パーツ(ブルー)
(スチロール樹脂: PS)



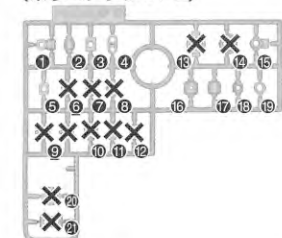
XC1パーツ(オレンジ)
(スチロール樹脂: PS)



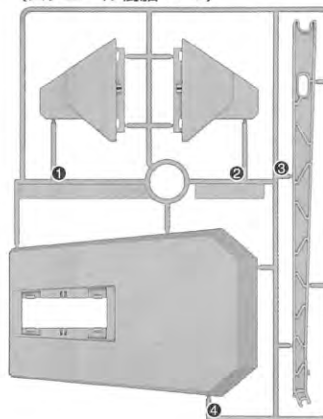
PC-204Aパーツ(ブルー)
(ポリエチレン: PE)



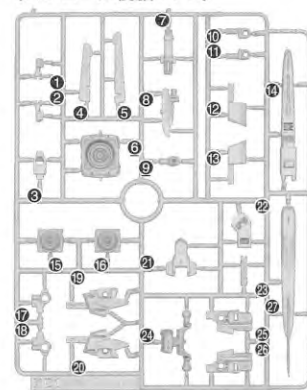
PC-204Aパーツ(ブルー)
(ポリエチレン: PE)



BA2パーツ(ブラック)
(スチロール樹脂: PS)



XD1パーツ(グレー)
(スチロール樹脂: PS)



XD2パーツ(グレー)
(スチロール樹脂: PS)

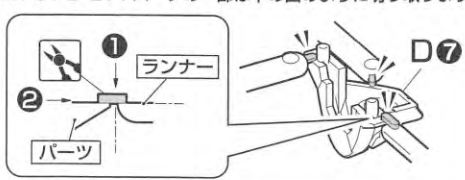


- カラーシール.....1枚
- マーキングシール.....1枚
- ガンダムデカール.....1枚

※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

アンダーゲートの切り方 ▶アンダーゲートマークの付いた部品は、下の図のようにキレイに切り取ります。

※A・C1・D・E1・Fパーツの一部は下の図のように切り取ります。



※組立図中の記号説明



組み立て前の基本説明

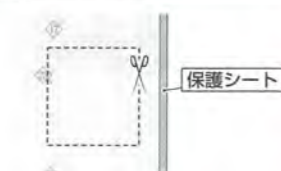
部品の向きに注意してください

※組み立て図中にVのついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。



ガンダムデカールの貼りかた

①ガンダムデカールは、転写するマークを保護シートと一緒にマークより大きめに切り出してください。



②保護シートをはがし、貼る位置を決めてから、ずれないようにセロハンテープ等で固定し、マークの上からボールペン等の先端の丸い物でこすりつけて定着させます。

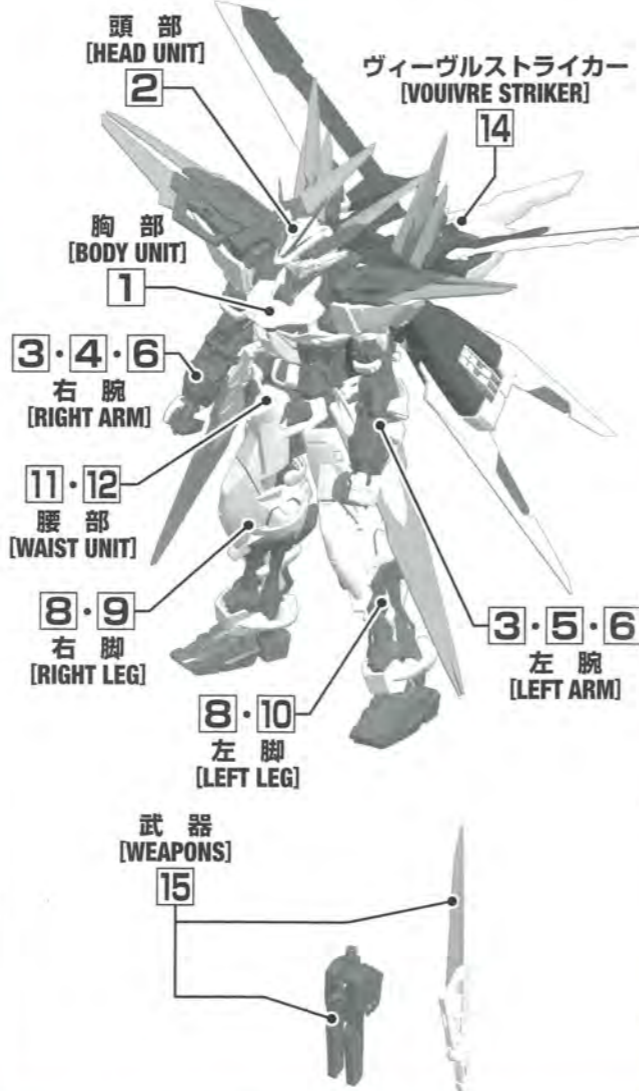


③シートを静かにはがし、デカールが定着していない部分が残った場合はシートを元に戻し、その部分を再度こすりつけます。



※デカールを貼り間違えた場合は、セロハンテープ等ではがしてください。

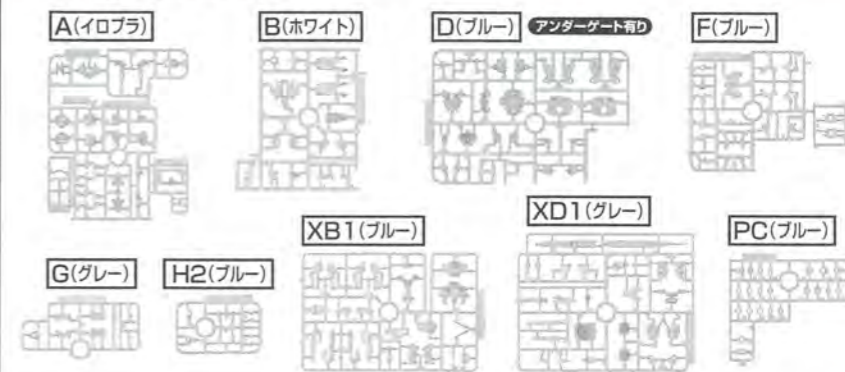
説明書をよく読んで完成させましょう



1 BODY UNIT

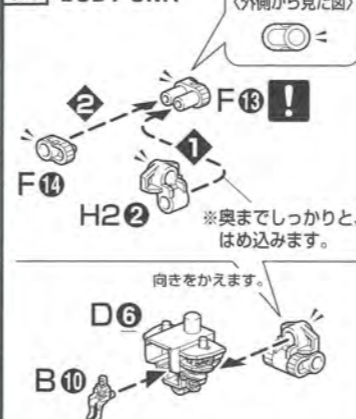


・組立1で使用するパーツ

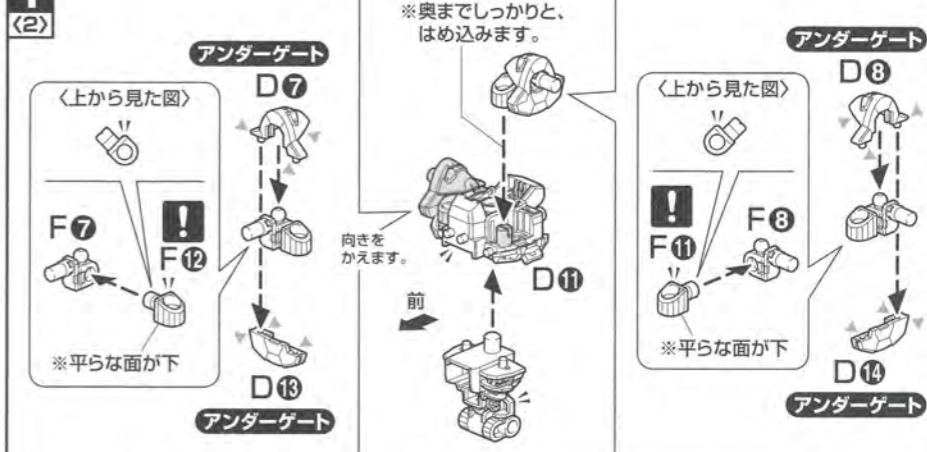


1 (胸部の組立)

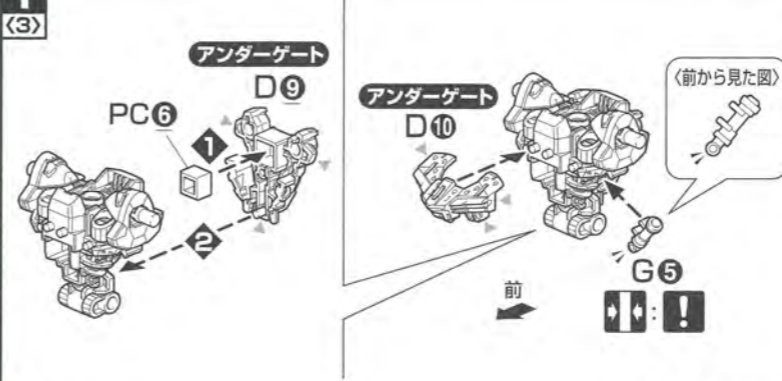
1 (1) BODY UNIT



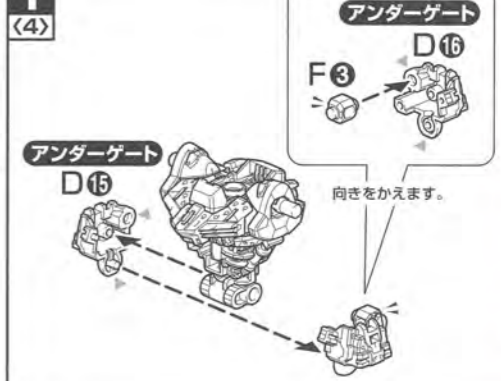
1 (2)



1 (3)

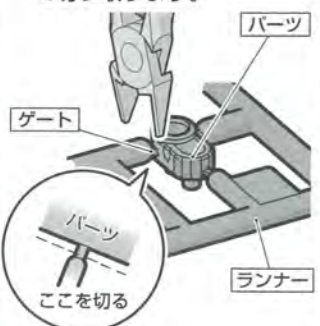


1 (4)

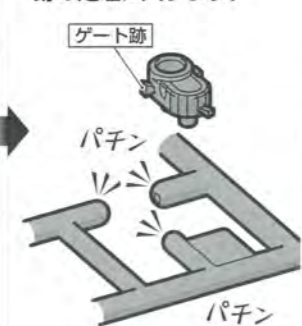


パーツの切り取りかた

①まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。



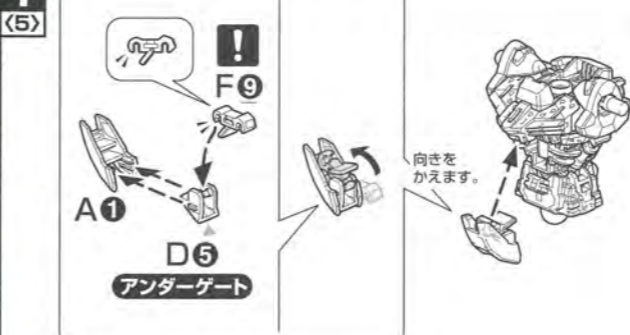
②パーツを切り離して持ちやすくしたところでゲート跡の処理に入ります。



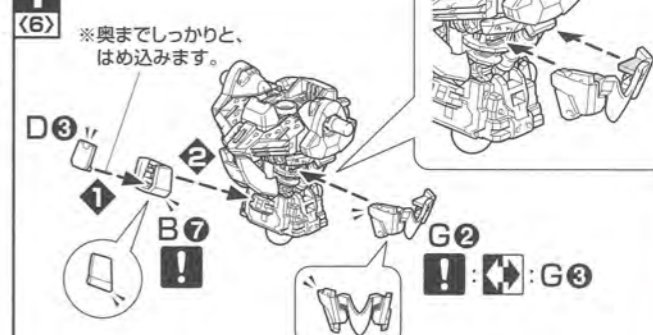
③ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。



1 (5)



1 (6)



※組立図中の記号説明

! 向きに注意して組み立てる

⇄ 両側へ同じパーツを取り付ける

⇄ 反対側に取り付けるパーツ

4 (3)

〈横から見た図〉

! C19

4 (2)

C20

前

向きをかえます。

前

〈横から見た図〉

C16

C18

4 (4)

アンダーゲート F20

D20

E8

E9

E11

1/2

B1

向きをかえます。

3 (1)

6 (3) x2

XB1 (8) (XB2 (8))

6 (2)

XA16 (XA26)

(XC2 (8))

XC18

※きれいに切り取ります。

6 (1)

6 (1)

7 [上半身の完成] UPPER BODY

2で作った頭部

6で作った肩アーマー

1で作った胸部

4で作った右腕

5で作った左腕

5 (1) [左腕の組立] LEFT ARM

PC1

E14

アンダーゲート

D17

※奥までしっかりと、はめ込みます。

アンダーゲート

3 (2)

E3

前

3 (3)

〈内側から見た図〉

5 (2)

〈上から見た図〉

! PC3

アンダーゲート

E12

アンダーゲート

E13

1

2

E1

アンダーゲート

〈下から見た図〉

〈横から見た図〉

! C17

アンダーゲート

E7

! E6

アンダーゲート

〈横から見た図〉

〈横から見た図〉

5 (3)

! C19

前

〈横から見た図〉

C20

〈横から見た図〉

向きをかえます。

前

C16

2

1

C18

5 (4)

アンダーゲート F19

E9

E8

D19

3 (1)

E11

1/2

2

B2

向きをかえます。

6 (1) x4 [肩アーマーの組立] SHOULDER ARMOR

〈ステルスドラグーン〉

〈内側から見た図〉

(XB2 (8)) XB1 (8)

(XC2 (4)) XC1 (4)

(XB2 (7)) XB1 (7)

(XC1 (4)) (XC2 (4))

6 (2) x2

(XB2 (10)) XB1 (10)

(XB2 (11)) XB1 (11)

F25

8 9 10 LEG UNIT

8 (脚部の組立) LEG UNIT

8 (1)

A20

PC18

A19

A18

A17

PC18

PC16

x2

E35

・組立8・9・10で使用するパーツ

A(イロプラ) アンダーゲート有り

B(ホワイト)

C1(ホワイト) (x2) アンダーゲート有り

D(ブルー) アンダーゲート有り

E1(ブルー) (x2) アンダーゲート有り

F(ブルー)

O(グレー) (x2)

XB1(ブルー)

XB2(ブルー)

XD1(グレー)

PC(ブルー) (x2)

H2(ブルー)

XA1(ホワイト)

8 (2) x2

O1

O4

O2

O3

アンダーゲート

A21

8 (3) x2

E40

アンダーゲート

E39

〈内側から見た図〉

E40

E42

E41

アンダーゲート

E38

E42

アンダーゲート

E21

E22

2

1

〈内側から見た図〉

E21

前

FIGHT'S ON

Documentary Photographs

運命の対決

宇宙、デブリベルトで対決することになった効のブルーフレームDとダンテのアストレイノワールの二機。浮遊する無数のデブリは、それぞれにアンカーを打ち込み移動手段として使用出来るアストレイノワールに有利だ。しかし場所を指定したのは効だ。傭兵は自分に有利な戦場を選ぶ。つまりは翼の可能性が高い。「さあ、奥の手を見せろ、効!」ダンテのノワールが挑発する。距離を取りながらソードピストルの銃撃も加える。「いだろう、ダンテ」効が答える。挑発に乗ったのでは無い。その声はあくまで冷静だ。ダンテに緊張が走る。「行く」ブルーが距離を縮めてくる。一直線だ。加速しながら、手にした剣を投擲する。元は腰に装備されていた剣だ。ダンテは余裕でそれを切り捨てる「何っ!」手応えが無い。斬ったのは残像。目で見るとは無く、全身の神経で感じ取る。効が投げた剣は、ソードピストルの軌跡をギリギリで避けている。ありえない、異常な軌道だ。そのままノワールのストライカーの左の翼を切り裂いた。その瞬間にダンテは、効が隠している能力を理解した。「ドラグーンだっ!」それは生まれつき特殊な空間認識能力がなければ使えない。ブルーフレームDの全身に装着されたドラグーンが本体を離れ、飛びたつ。

誰がために剣は舞う

エルザは、ダンテの復讐のため、アストレイノワールにデスティニーRシールドを装備した機体を用意した。効は、エルザの挑戦に応じた。彼もブルーフレームDの両腕に新たな装備であるブレイドガンを追加していた。戦いの場は地上、雪の降り積もった大地に二体のアストレイが対峙する。バトル開始と同時にブルーフレームDの腕に装着されたブレイドガンに、全身に装着されていたドラグーンが集められてゆく。それは、大型剣に銃を組み合わせた武器、シペルソードとなる。最初にしかけたのはエルザだ。ノワールDはミラージュコロイドによる光学残像を利用した分身により無数の攻撃を繰り返す。だが、ブルーフレームDは、センサードラグーンで分身を見抜き、巨大な二振りのシペルソードで全ての攻撃を切り捨てた。「今度は、こちらから……」ブルーフレームDが踏み出す。同時にステルスドラグーンからミラージュコロイドの粒子が展開され、剣全体にビームがまとわりつく。「行くぞ!」その言葉と同時にブルーフレームDが滑るように切り込む。速い。そして重い一撃が繰り返される。エルザはソードピストル二振り十字にクロスさせ、やっとその攻撃を受けた。



※画像はイメージです。

MARKING



エルザ機を再現できる肩部パーソナルマークが付属。
※この商品には、MGガンダムアストレイブルーフレームDが1セットのみ入っています。



PAINTING (塗装)

ガンダムアストレイブルーフレームD

<ul style="list-style-type: none"> 本体、ヴィーヴルストライカー等 ホワイト(100%) +ネービーブルー(少量) 	<ul style="list-style-type: none"> 武器等 オレンジ部 オレンジイエロー(70%) +ホワイト(30%) 	<ul style="list-style-type: none"> センサー等 クリアグリーン(60%) +クリアイエロー(40%)
<ul style="list-style-type: none"> 内部フレーム等 ブルー(60%)+インディブルー(20%) +ホワイト(20%) 	<ul style="list-style-type: none"> 腰部、ヴィーヴルストライカー等 ブラック部 ミッドナイトブルー(70%) +ブラック(30%) 	

※よりリアルに仕上げたい方は、上の基本色をご確認ください。※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお勧めできません。※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。
※ここに掲載している情報は2014年11月現在のものです。

FIGURE 叢雲効

<ul style="list-style-type: none"> 顔等 薄茶色(100%) 	<ul style="list-style-type: none"> 髪、ブーツ等 マホガニー(70%) +ブラック(30%) 	
<ul style="list-style-type: none"> サングラス オレンジ(70%) +ホワイト(30%) 	<ul style="list-style-type: none"> 上半身ホワイト部 ホワイト(95%)+ブラック(5%) +薄茶色(少量) 	
<ul style="list-style-type: none"> 襟レット部 シャインレッド(100%) 	<ul style="list-style-type: none"> 上半身、スボン等 カーキ部 カーキグリーン(100%) 	
<ul style="list-style-type: none"> 顔等 薄茶色(100%) 	<ul style="list-style-type: none"> 襟レット部 ワインレッド(100%) 	
<ul style="list-style-type: none"> 髪 ホワイト(70%) +エメラルドグリーン(30%) 	<ul style="list-style-type: none"> 襟レット部 ワインレッド(70%) +ブルー(30%) 	
<ul style="list-style-type: none"> ベルト、腕のライン等 ホワイト(95%)+ブラック(5%)+薄茶色(少量) 		

ワンポイントステップ ~One point step~

スミ入れしてみよう!

ガンダムマーカ/スミ入れ用(別売り)などを使用して、キットのスジ彫りを塗装することで、立体感、リアル感が増します。スミ入れるだけで見違えるような仕上がりになります。



[before]

[after]

MECHANISM & WEAPONS

VOUVRE STRIKER

ヴィーヴルストライカー

翼竜の名を冠したストライカーバック。アストレイのランドセルを下部へ下げた後に現れるアタッチメントプラグに装着される。地球連合で開発されたエールストライカーをベースにし、追加で上部に二基のビームキャノンドラグーンを装着している。エールストライカーと同様の機能を有するため、大気圏内での滑空能力を高めるなど、推進系の基本能力を高めることも出来る。しかしながら対ダンテ戦では効の作戦のため、瞬時に機体を加速して真っ直ぐ前へ押し出すためのみ使われた。単一ミッションに特化した傭兵らしい装備だと言えるだろう。



DRAGOON SYSTEM

ドラグーン・システム

腰のドラグーンは「ソードドラグーン」。剣としての機能を重視したドラグーン。大型であり、シールドとしても機能する。頭部のドラグーンは「センサードラグーン」。複合センサーを搭載するがビーム兵器は搭載せず、本体が見ることの出来ない場所からの情報収集を行う。肩のドラグーンは「ステルスドラグーン」。ミラージュコロイドを搭載し本体をステルス化出来る上に、ビームを曲射させるフィールドを形成する。ヴィーヴルストライカーのドラグーンは「ビームキャノンドラグーン」。大出力のビーム砲を搭載し、発射回数に制限があるものの、その威力は大きい。

SWORD DRAGOON

STEALTH DRAGOON



SENSOR DRAGOON

BEAM CANNON DRAGOON

BLADE GUN

ブレイドガン

対ダンテ戦の後に、新たに加えられた両腕の二連銃銃。これは銃であると同時にドラグーン・プラットフォームでもある。全身に装着されていたドラグーンを、すべて装着することが可能であり、巨大な剣へと姿を変える。合体した剣は「シペルソード」と呼ばれる。これはギリシア語の鱗(lepis)綴りを逆にして「逆鱗」という意味を持たせ名付けられた。銃はカートリッジ式弾倉を採用し、目的に合わせた弾を使用することが出来る。



BLADE GUN

SIPER SWORD

INNER FRAME

内部フレーム



アストレイの最大の特徴は、人に近い動きを再現可能としたフレーム構造にある。また、軽量の発泡金属装甲を採用することで、優れた機動性を獲得している。

※画像はバンダイプラモデルアクションベース1(別売り)を使用しています。

8 (4) **x2**

※図の位置まで押し込んでからの作業をおこなってください。

前

〈後ろから見た図〉

C7

8 (5) **x2**

アンダーゲート E31

アンダーゲート E30

PC17

〈内側から見た図〉

E31

PC17

9 (3)

向きをかえます。

B14

C13

アンダーゲート

前

9(2)

XA12

XD18

C14

前

9 (4)

〈横から見た図〉

F17

A23

※大きい方

〈横から見た図〉

前

8 (6) **x2**

※ミゾを合わせて奥までしっかりと、はめ込みます。

H24

H23

〈上から見た図〉

前

〈上から見た図〉

E29

E28

アンダーゲート

1

2

9 (1) **RIGHT LEG**

アンダーゲート D27

PC15

〈横から見た図〉

D26

アンダーゲート

8(6)

※9でH26がまっすぐに通るように穴を合わせてください。

9 (5)

〈内側から見た図〉

C8

C6

E44

前

〈内側から見た図〉

C11

〈内側から見た図〉

C5

C9

E44

〈前から見た図〉

〈前から見た図〉

向きをかえます。

前

9 (3)

〈前から見た図〉

C15

※奥までしっかりと、はめ込みます。

8(2)

9 (2)

アンダーゲート E23

C3

C4

C12

※奥までしっかりと、はめ込みます。

前

〈外側から見た図〉

H26

※奥までしっかりと、はめ込みます。

向きをかえます。

XB14

前

〈外側から見た図〉

H26

1

2

※内側の凸部を切り取らないように注意してください。

前

向きをかえます。

アンダーゲート E19

E20

C10

E18

E17

〈外側から見た図〉

〈後ろから見た図〉

10 (1) **LEFT LEG**

アンダーゲート D28

PC15

アンダーゲート D25

アンダーゲート E23

C4

E23

C3

C12

8(6)

※H26がまっすぐに通るように穴をあわせてください。

前

向きをかえます。

前

※奥までしっかりと、はめ込みます。

〈外側から見た図〉

〈外側から見た図〉

H26

1

2

※奥までしっかりと、はめ込みます。

前

向きをかえます。

XB214

13 (完成)
FINAL ASSEMBLE



<コクピットハッチの開けかた>



14 (3)

※きれいに
切り取ります。
XD1⑳

※きれいに
切り取ります。
XD1㉑

K①

XD1㉒

前

<内側から見た図>
XD1㉑ XD1㉒

14 (4)

※きれいに
切り取ります。
XD1㉓

※きれいに
切り取ります。
XD1㉔

XD1㉕

K⑩

前

<内側から見た図>
XD1㉕ XD1㉓

14 (5)

XD1㉖

※奥までしっかりと、
はめ込みます。

K②

14 (2)

14 (3)

14 (4)

14 (1)

前

向きを
かえます。

向きをかえます。

XD1㉗

XD1㉙

※奥までしっかりと、
はめ込みます。

H①

H②

XD2⑨

14 VOIVRE STRIKER



・組立14で使用するパーツ

B(ホワイト)	H(ホワイト)	K(ブラック)	XA1(ホワイト)	XB1(ブルー)
XB2(ブルー)	XC1(オレンジ)	XC2(オレンジ)	XD1(グレー)	XD2(グレー)

14 (6)

XD1㉘

K⑤

XD1㉙

前

※きれいに
切り取ります。
K⑬

4

3

2

1

H⑥

14 (8)

<横から見た図>

H①

XD1⑬

K⑥

前

向きをかえます。

XC1⑬

XD1⑬

XC1⑭

前

2

1

K⑧

14 (1) (ヴィーヴル
ストライカーの組立)
VOIVRE STRIKER

K①

XD1⑭

14 (2)

H⑦

※きれいに
切り取ります。
XD1⑮

前

向きを
かえます。

XD1⑰

※きれいに
切り取ります。
XD1⑱

H⑧

14 (7)

XD2⑧

XD1⑩

K⑤

前

3

4

2

1

H⑥

※きれいに
切り取ります。
K⑫

K③

H③

XD1④

1

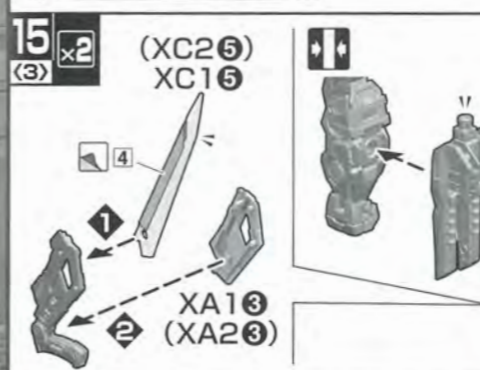
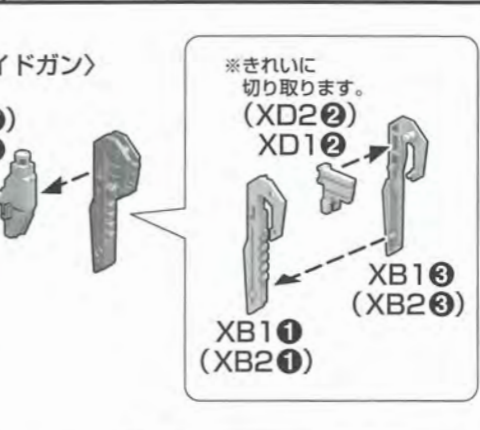
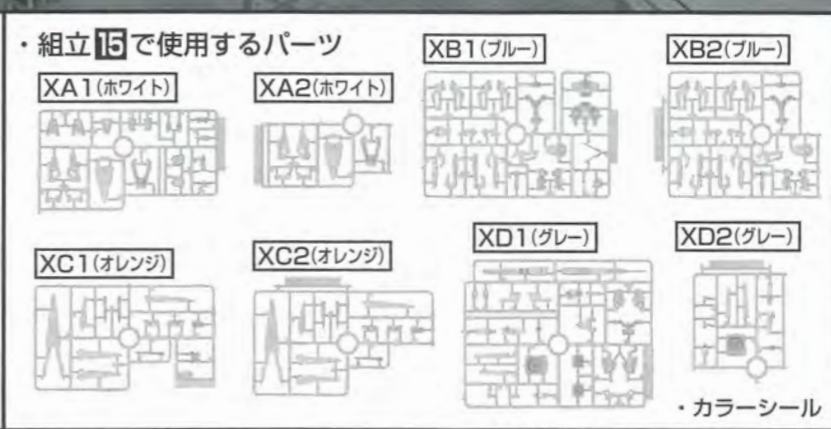
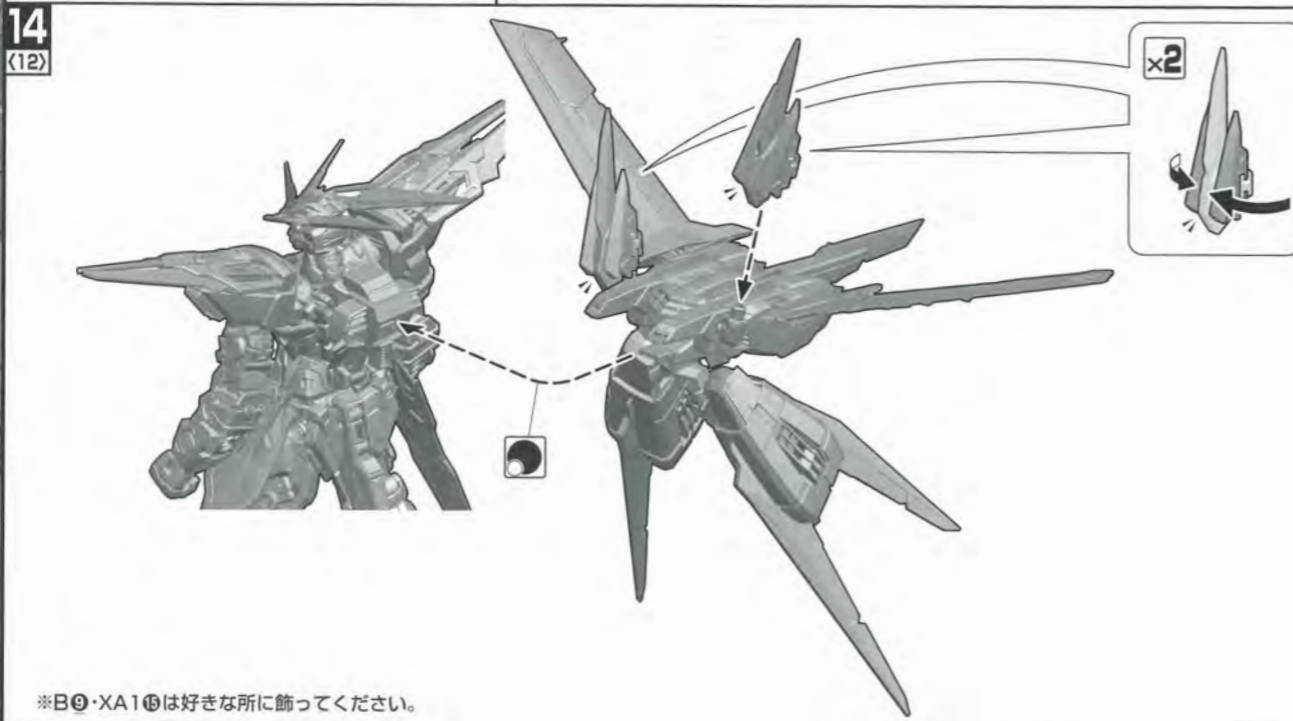
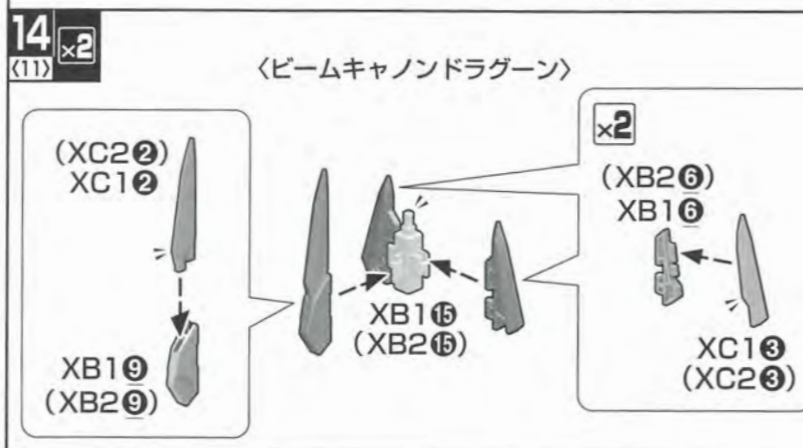
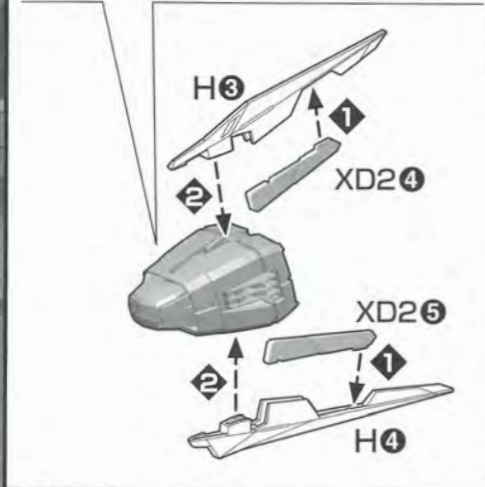
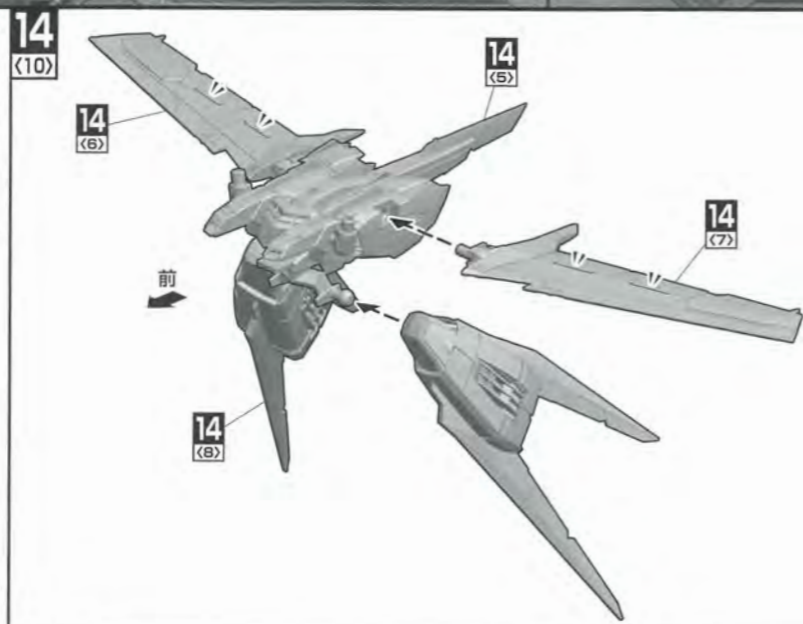
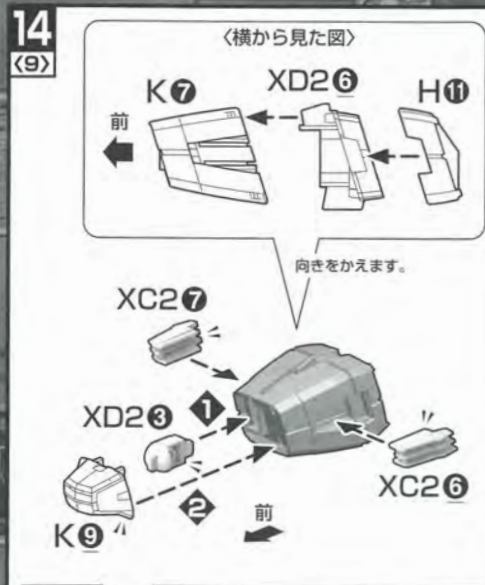
2

XD1⑤

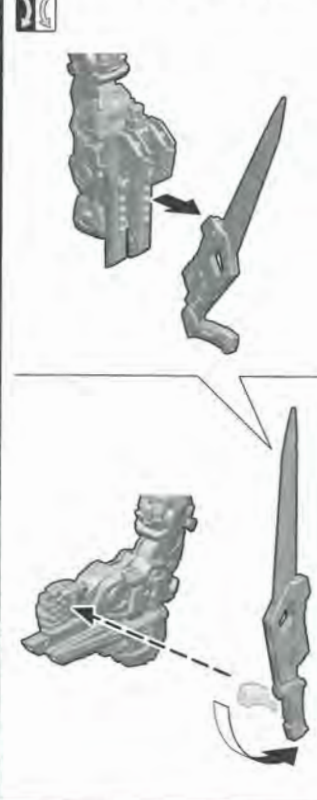
1

2

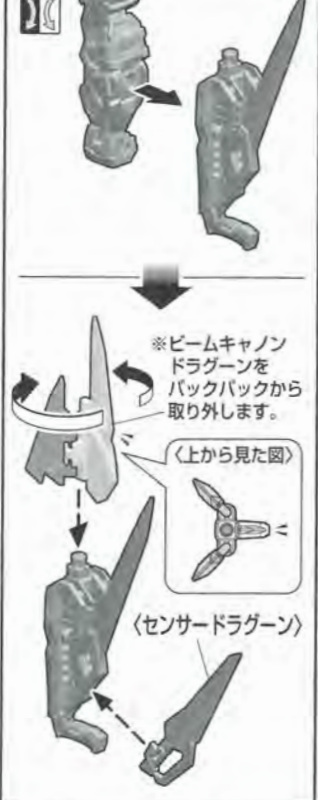
H④



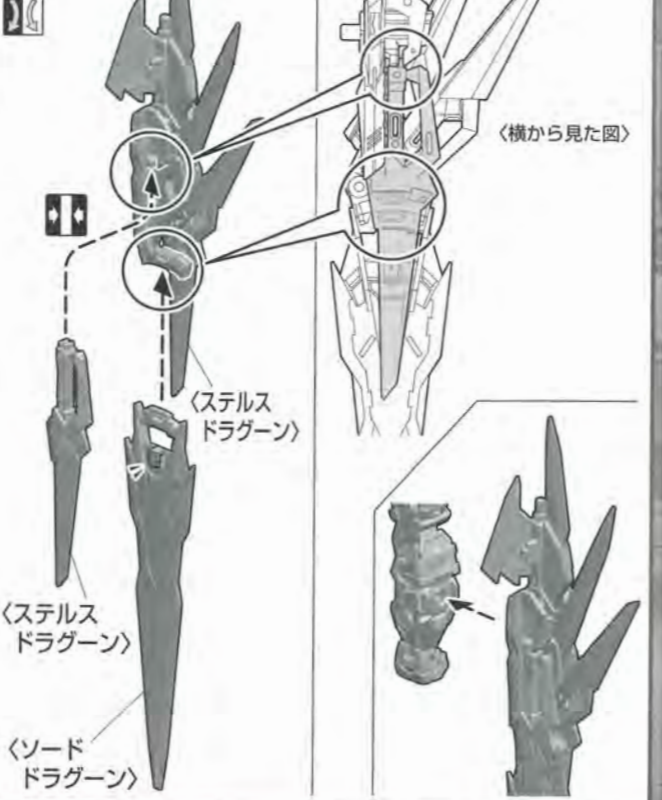
16 (4) <ブレイドガンの持たせかた>



16 (5) <シベールソードの装備>



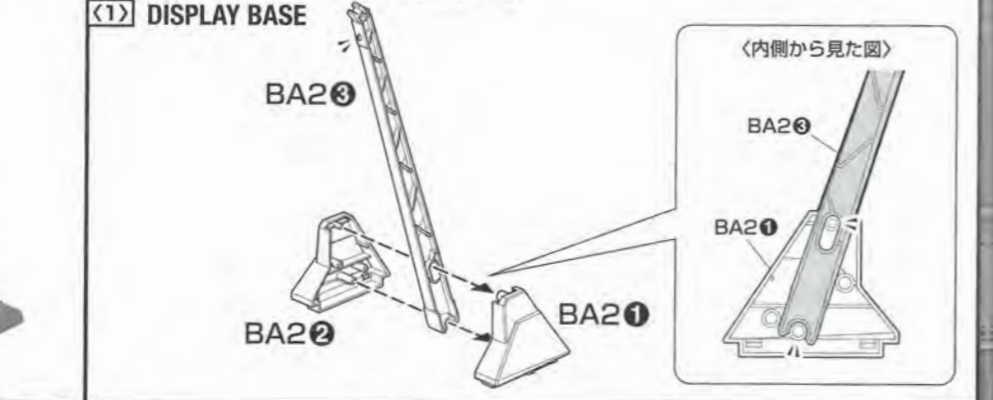
16 (6) <シベールソードの装備>



17 DISPLAY BASE



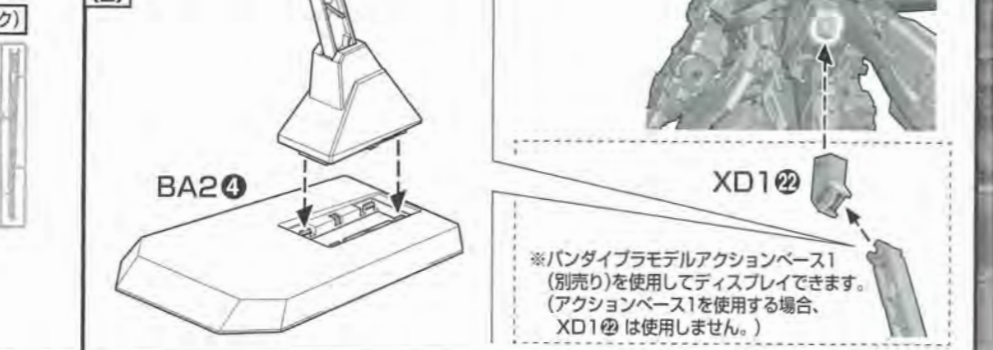
17 (1) <ディスプレイベースの組立>



組立17で使用するパーツ

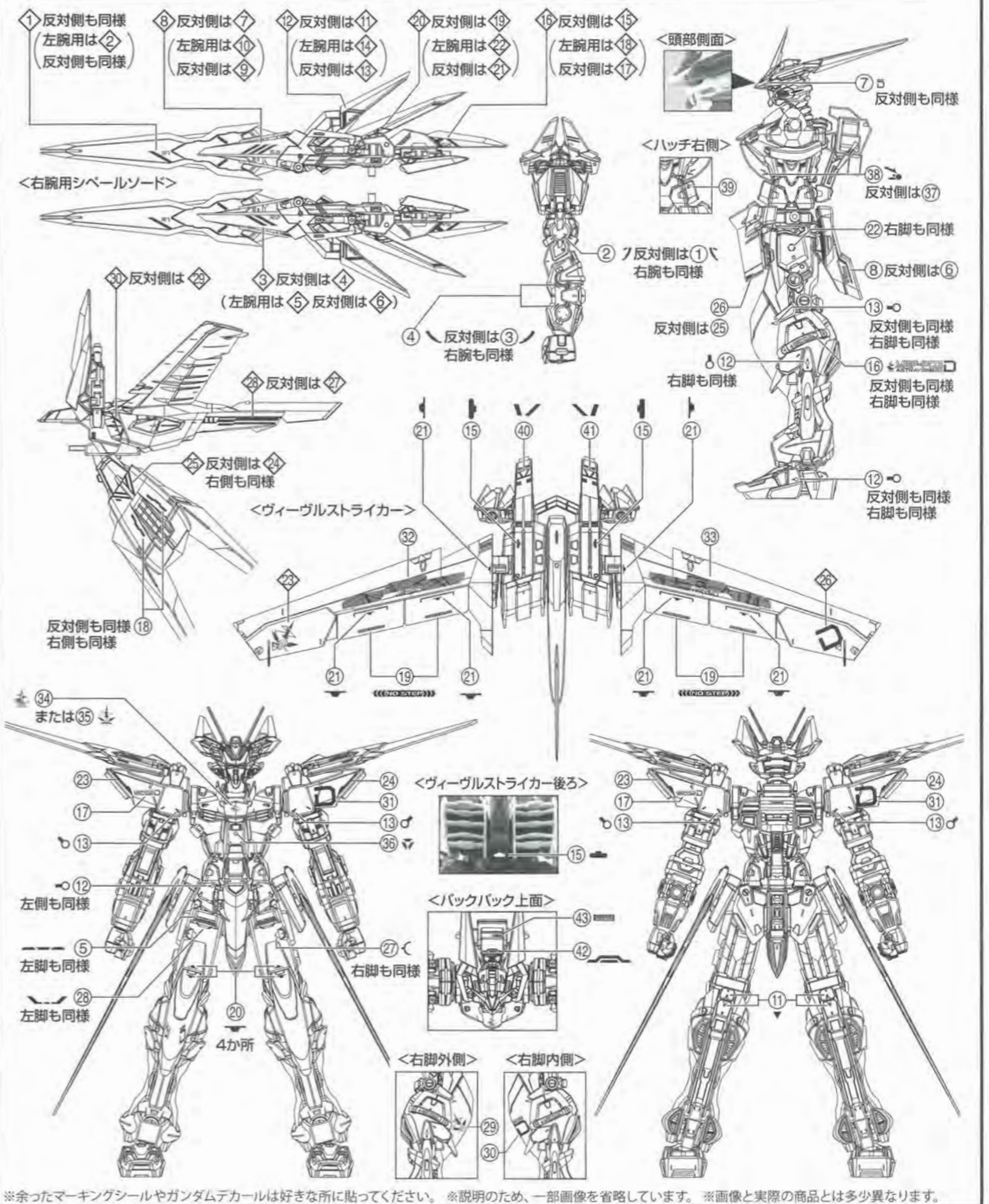


17 (2) <ディスプレイベースの組立>



Seal 下の図を見て、マーキングシールやガンダムデカールの貼る位置を確認してください。

【ガンダムデカールの貼りかた】 ※P6のガンダムデカールの貼り方を参考に、あせらずゆっくり貼ってください。
 1. 転写するマークを大きめに切り取ります。
 2. 転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
 3. シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすり取ります。
 このマーキングシール及びガンダムデカールはプラモデルオリジナルのもので、貼り指示は一例ですのでイメージに合わせてお貼りください。



※余ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所に貼ってください。 ※説明のため、一部画像を省略しています。 ※画像と実際の商品とは多少異なります。